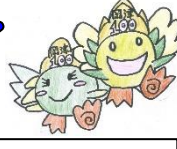




# 岡 津



令和元年度のキーワード

「つなぐ<sup>x3</sup> そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 12月号  
令和元年 11月29日  
横浜市立岡津小学校  
校長 宮路 ますみ  
TEL 811-4104  
FAX 812-4586  
(岡津小HPのQRコード掲載)

## 心を育てる・心を鍛える

校長 宮路 ますみ

今年は例年になくインフルエンザの流行が早く、本校でも大変心配をしておりましたが、今のところ患者は出ていません。手洗い・うがいを励行し、早寝・早起きを心掛け、12月24日まで休まず登校できるよう、ご家庭でも声かけをよろしくお願ひします。

11月18日から29日までを、本校では読書週間と定めています。「読書の秋」の言葉通り、秋の夜長に読書をして楽しんでほしい。言葉からイメージを広げて、豊かな感性を磨いてほしい。そんな願いを込めて設定しています。毎年図書委員会の児童を中心にして、さまざまな取組を行っているのですが、今年は読書集会や読書パズルを実施する予定になっています。加えて、普段行っている朝読書の時間を拡充して、ボランティアの皆さんによる読み聞かせも行っています。

本校の児童の読書傾向は、二分割の様相を呈しています。つまり、本をよく読む児童は月に数冊も本を読み、その一方で全く本を読まない児童もかなり存在していることとなります。若者の活字離れが叫ばれる中、どうやって読書の楽しさを伝えていけばいいのか、学校でも様々な方法を模索している状況です。

朝会でも話したのですが、私が小学校時代に読書好きになったのは、友だちの影響でした。仲良しの友だちと毎週木曜日の中休みに本を借りに行く決めていて、1週間で1冊の本を読むことにしていました。今のようにゲームやスマホもない時代でしたので、夕方宿題を終えた後の30分が日々の読書タイムでした。図書室中の本を全部読んでやるぞという勢いで、次々と本を借りていきました。好きなシリーズは全制覇しようとし、読みたい本がほかの人に借りられていると、待ち遠しくて度々図書室を覗いたものです。シャーロックホームズや江戸川乱歩のシリーズなどは、面白くて次々と読んでいきました。

小学校時代の読書の習慣によって得たものは何かと思えば、一つ目は語彙が増え、お話の続きなどを想像することが好きになり、文を書くことが苦ではなくなったように思います。二つ目は、登場人物の生き方や考え方を自分事として考え、「自分ならこんな時はどうするだろう？」と考える習慣がついたことです。世の中には、さまざまな価値観があり、自分と違う考え方をする人がたくさんいて、人の生き方に正解はないと思うようになりました。ほかの人の人生を疑似体験できるのは、読書ならではの楽しみです。

子どもたちにはさまざまなロールモデルが必要です。でも、日常生活で出会えるのは、ほんの一握りの人だけです。読書によってさまざまな人生や生き方を知ることが、自分自身の生き方を創っていく上でとても役立つと思います。他人の気持ちを想像してみる。自分と違う考えを新たに知る。そんな経験が、子どもたちの心を育て、心を鍛えることにつながっていきます。人の気持ちに寄り添える子どもは、決して友だちをいじめたり傷つけたりしません。相手の気持ちが容易に想像できるからです。そんな優しい心をもった子どもたちを育てるためにも、読書活動を推進していきます。ぜひ、ご家庭に置かれましても、親子で同じ本を読んで感想を話し合うとか、おうちの人が読んで面白かった本をお子さんに薦めてみるなどして、会話の中に読書の話題が出てくることを期待しています。決して、ゲームやYouTubeでは味わえない、心のつながりを育ててみませんか。